



2021年11月30日

各位

会社名 株式会社 IMAGICA GROUP
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 布施 信夫
 社長執行役員
 (コード番号：6879 東証第一部)
 問合わせ先 取締役常務執行役員 森田 正和
 TEL 03-5777-6295

新市場区分「プライム市場」の選択申請及び上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日開催の取締役会において、プライム市場を選択することを決議し、申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており「流通株式時価総額」が61.2億円、流通株式比率が27.2%とそれぞれ基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額と流通株式比率に関し、2026年3月期までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均売買代金 (億円)
当社の状況 (移行基準日時点)	122,002 単位	61.2 億円	27.2%	0.4 億円
上場維持基準	20,000 単位	100 億円	35.0%	0.2 億円
計画書に記載の項目		○	○	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

プライム市場上場維持基準の充足に向けた「流通株式時価総額」及び「流通株式比率」の向上にかかる取組の基本方針、課題及び取組内容については、添付の『新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書』に記載の通りです。

(注意) 本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以上

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

2021年11月30日



1. 上場維持基準の適合状況及び計画期間
2. 上場維持基準の適合に向けた基本方針
3. 現状の課題及び取組内容

適合状況

当社の移行基準日（2021年6月30日）におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式時価総額」「流通株式比率」について基準を充たしておりません。

	プライム市場 上場維持基準	当社の数値※
流通株式時価総額	100億円	61.2億円
流通株式比率	35.0%	27.2%

※「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」（株式会社東京証券取引所より、2021年7月9日付受領）

計画期間

上場維持基準を充たすための計画期間を、中期経営計画「G-EST2025」の最終年度となる**2026年3月期（2025年度）**までとして、各種取組を進めてまいります。

2つの基本方針を定め、具体的活動に取り組んでまいります

1. 時価総額の向上

中期経営計画「G-EST2025」に掲げた「逆境にも強いバランスの取れた高収益体質のグループ」を目指すとともに、IR活動の強化など株主・投資家との対話を促進することで、時価総額を継続的に向上させてまいります。

2. 流通株式比率の向上

大株主や法人株主との流通株式比率向上に関する対話を進めると共に、その他流動性向上に資する施策に取り組んでまいります。

認識している現状の課題と課題解決のための取組内容は以下のとおり

	課題	取組内容
時価総額の向上	収益力	1. 中期経営計画「G-ST2025」の着実な推進
	市場からの適正な評価	2. IR活動の強化 3. サステナビリティ情報開示の充実
流通株式比率の向上	当社株式の流動性	1. 大株主と法人株主との対話 2. その他流動性向上に資する施策の検討と実行

1. 中期経営計画「G-EST2025」の着実な推進（1）

逆境にも強いバランスの取れた高収益体質のグループ

<基本戦略>

1.
グローバルに事業
領域を拡大

2.
新たなライブ
エンタテインメント
ビジネスの確立

3.
映像システム事業
領域において新た
な価値を創造

4.
事業変革の完遂

<戦略的施策>

DXによる経営改革

技術開発力強化

人材の確保・活性化

<社会課題の解決・持続的成長の実現>

SDGsの取組み

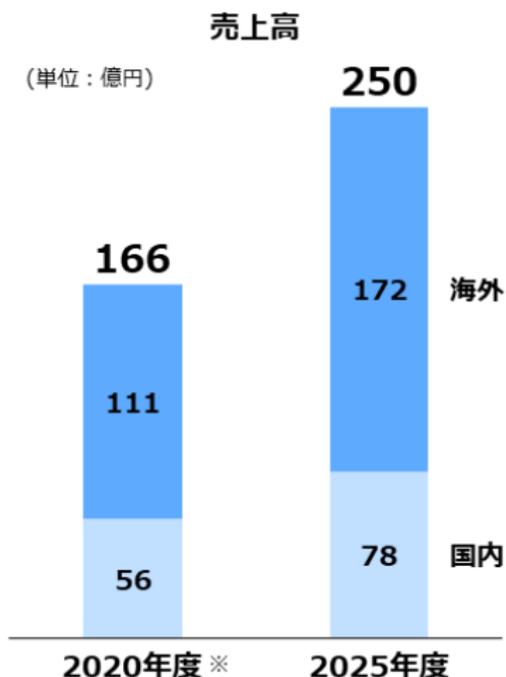
中期経営計画の詳細はこちらをご参照ください。<https://www.imagicagroup.co.jp/ir/philosophy/plan.html>

1. 中期経営計画「G-EST2025」の着実な推進（2）

〈基本戦略〉 1. グローバルに事業領域を拡大

グローバルE2E事業の目指す姿

PixellogicとIMAGICAエンタテインメントメディアサービスの一体経営により、グローバルに事業領域を拡大



グローバルE2Eサービス体制の推進

- 動画配信事業者向けE2Eサービス受注の拡大
- アジア市場への事業展開を強化
- 国内外の顧客基盤を共有化
- システム共通化による生産性向上

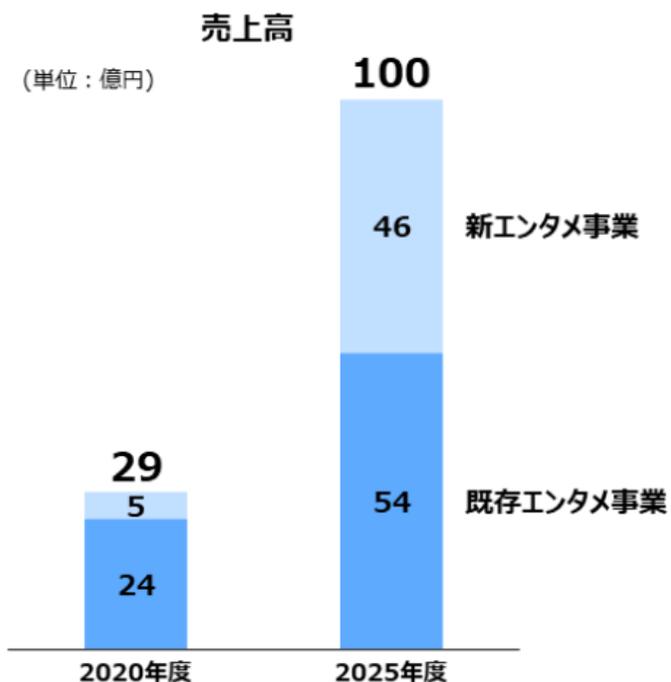
※ 2020年度実績はPixellogicの通期売上を反映。

1. 中期経営計画「G-EST2025」の着実な推進（3）

＜基本戦略＞ 2. 新たなライブエンタテインメントビジネスの確立

ライブエンタテインメント事業の目指す姿

グループ各社が連携して新たなビジネスモデルを確立、事業拡大を目指す



新たなビジネスモデルの確立

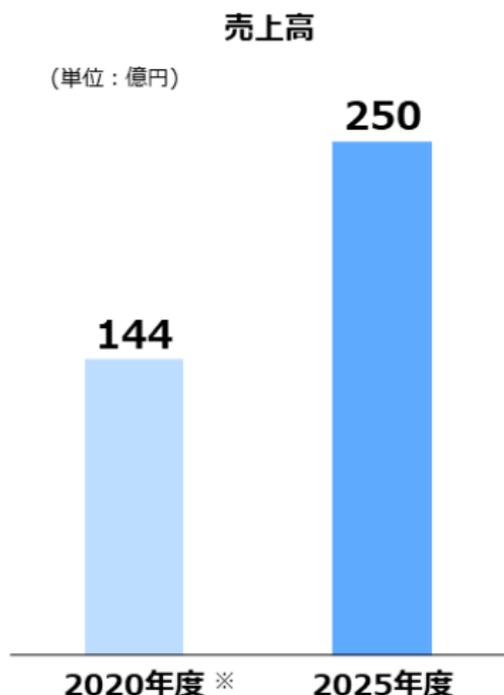
- ・ オンラインライブ配信を企画製作するデジタルイベントプロデュース領域への進出
- ・ 配信事業者や芸能事務所との協業でレベニューシェア型の事業を確立
- ・ スポーツの新しい観戦体験や映像の活用ソリューションを提供するスポーツテック事業立ち上げ

1. 中期経営計画「G-EST2025」の着実な推進（4）

<基本戦略> 3. 映像システム事業において新たな価値を創造

映像システム事業：「モノ売りからコト売り」へ

サブスクリプションやSaaS、ソリューション提案による「コト売り」ビジネスに転換



※ 2020年度：会計基準変更による調整を加えた数値

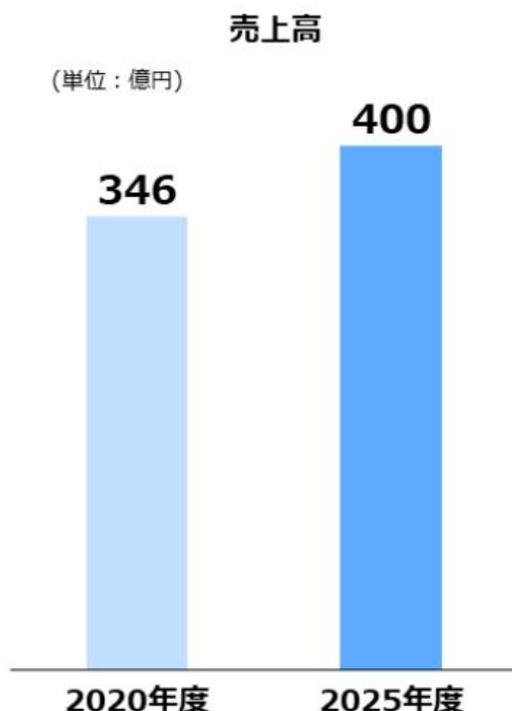
ビジネスモデルの 変革	映像システム	映像システム（ハード）提供を継続拡大 + ・クラウドでの映像制作ワークフローサービス（サブスクやSaaS型） ・映像ネットワーク監視ビジネス
	高速度カメラ	自動車衝突安全試験向けなどソリューションビジネスの拡大 
	光学計測	・偏光検査装置の海外展開（例：スマホの液晶フィルム検査装置など） ・高速通信市場に偏光素子提供

1. 中期経営計画「G-EST2025」の着実な推進（5）

＜基本戦略＞ 4. 事業変革の完遂

変革事業：収益改善と安定した利益創出

成長著しい業界での事業拡大により、営業利益率5%以上を目指す



映像コンテンツ

- 配信事業者との関係強化により国内外の制作案件獲得

＜実績例＞

ROBOT企画・制作 Netflixオリジナルシリーズ

『今際の国のアリス』

2020年12月10日全世界独占

- IPの獲得と創出をさらに推進

製作委員会への積極的な関与による**著作権の獲得**

グループ会社原作のアニメ化等により、**IP創出**

映像制作サービス

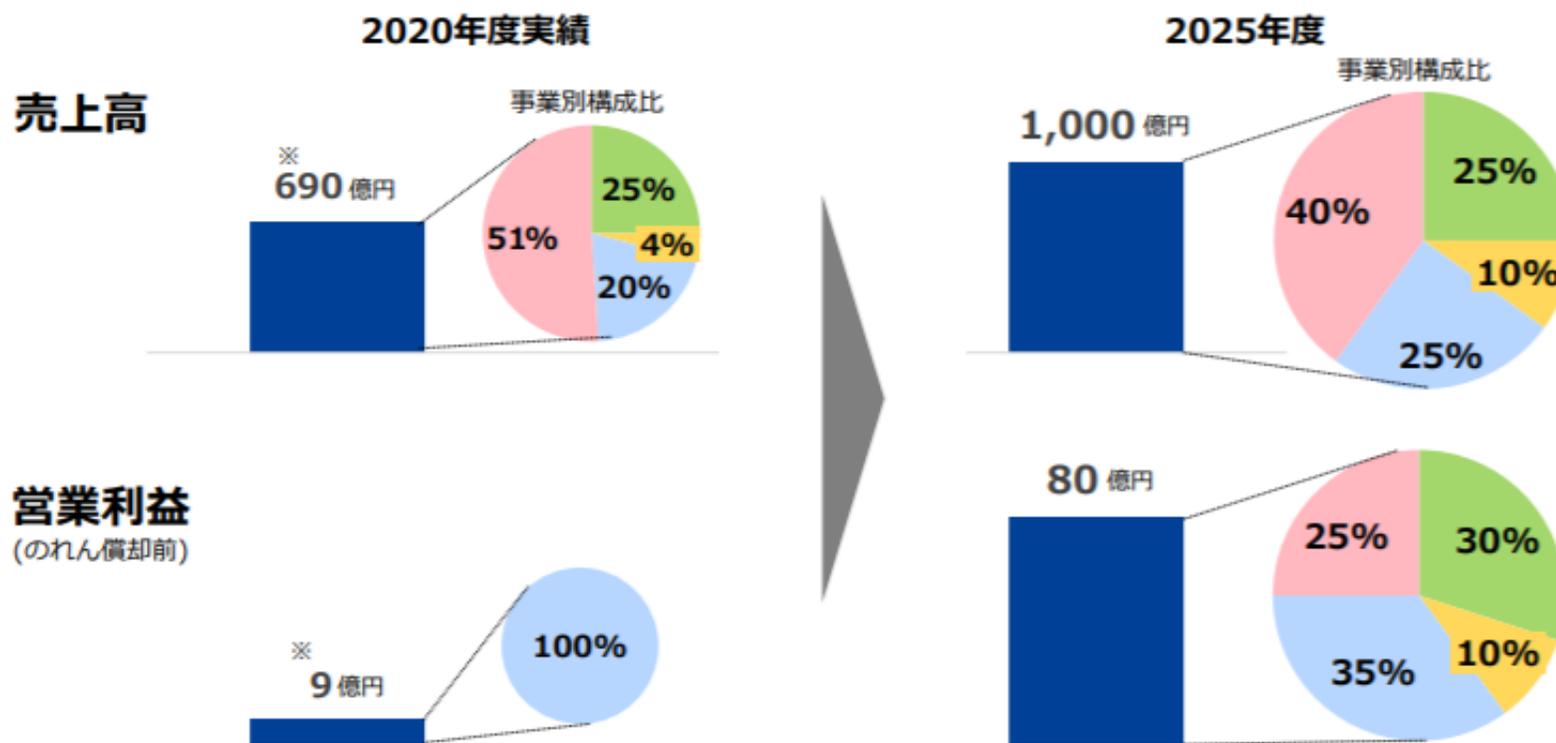
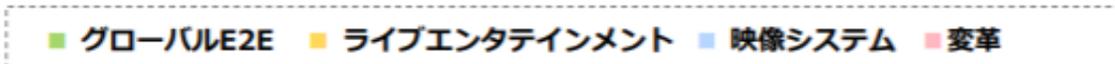
- ゲーム業界へのE2Eサービス展開による事業と収益の拡大

- ①3DCG制作の受託
- ②ゲームクリエイター派遣
- ③ゲームデバック（品質検証）の受託

- ポスプロ事業のDXによる生産性向上

1. 中期経営計画「G-EST2025」の着実な推進（6）

バランスのとれた事業構造を目指す



※…2020年度売上高と営業利益は、比較目的の為、海外M&A及び映像システムにおける会計基準変更の影響を調整

1. 中期経営計画「G-EST2025」の着実な推進（7）

「G-EST2025」定量目標の進捗状況

(単位：百万円)	2021年3月期 通期	2022年3月期 通期	新中期経営計画 「G-EST2025」
	実績	計画	目標
売上高	69,000※	75,000	100,000
のれん償却前営業利益※	9※	3,100	8,000

※2021年3月期の売上高と営業利益は、比較目的の為、海外M&A及び映像システムにおける会計基準変更の影響を調整

※のれん償却前営業利益 = 営業利益 + のれん償却 + M&Aに伴う無形固定資産償却

2. IR活動の強化

（１）幅広い投資家層へのアプローチ

機関投資家・アナリスト向けの説明会実施に加えて、個人投資家向け説明会などへ定期的に参加することで、幅広い投資家層へアプローチをしております。

（参考例）2022年1月8・9日開催「野村IR資産運用フェア」に参加 <https://fair.nomura-ir.co.jp/>

（２）経営陣と機関投資家との対話促進

代表取締役社長やCFOと機関投資家との対話を通じて、当社に対する評価や株式市場の状況を把握し、適時経営へフィードバックすることで企業価値向上に活かしております。

（３）Webサイト「IR・投資家情報ページ」の充実

投資家の皆様による当社への理解を促進するため、分かりやすい会社説明資料や会社紹介映像の掲載など、IR・投資家情報ページの情報充実を図っております。

3. サステナビリティ情報開示の充実

「サステナビリティ基本方針」に基いた取組を積極的に推進してまいります。今後、進捗状況について随時公表してまいります。

基本方針

IMAGICA GROUPは、「世界の人々に“驚きと感動”を与える映像コミュニケーショングループ」という経営理念のもと、当社グループの持続的な成長を実現するとともに、“映像”を軸にした様々な活動を通じて社会の多様なニーズにお応えすることで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

1. 大株主とその他法人株主との対話

- ✓ 大株主との対話により、流通株式比率向上に関する当社方針の理解をいただきました。今後、具体的な方法の検討を進めていただくことになっております。
- ✓ その他法人株主とは当社との取引状況や当該企業の政策保有株式に関する方針を鑑みた上で、対話を推進しています。なお一部の株主からは株式保有比率引き下げについて同意をいただきました。

2. その他流動性向上に資する施策の推進

当社株価の推移や資本政策などを総合的に判断した上で、流動性向上に資する施策を検討・実行いたします。

* 上記取り組みについては実行・完了までに相応の時間がかかることから、上場維持基準の充足までの期間は2026年3月期（2025年度）を見込んでおります。

お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP グループ経営管理部

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目14番2号

Email : ir@imagicagroup.co.jp

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。